

渡島・檜山地方の気象

平成23年春（3～5月）のまとめ（2011年）

函館海洋気象台

平成23年6月30日

◎ 平成23年春（3～5月）の天候 — 「低温・多雨・寡照」

【気温】

3か月の平均気温は4.2～6.7℃で、平年差は-0.9～-0.2℃となり、すべての観測点で平年より低く、松前・八雲町熊石・厚沢部町鶉では平年よりかなり低かった。

【降水量】

3か月の降水量合計は173.5～452.5mmで、平年比は88～147%となり、木古内では平年より少なく、八雲町八雲・函館市川汲・函館市美原・七飯町大沼・せたな町瀬棚では平年並のほかは、平年より多く、松前では平年よりかなり多かった。

【日照時間】

3か月の日照時間合計は385.8～509.9時間で、平年比84～100%となり、函館市川汲・函館市美原・木古内・八雲町熊石・奥尻町稲穂・厚沢部町鶉・江差では平年より少ないほかは、平年並だった。

◎ 月ごとの概況

【3月】「低温・少雨・多照」

この期間の天気は、低気圧や気圧の谷と高気圧が交互に通過し、数日の周期で変わった。

低気圧や気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となったが長続きしなかった。

月平均気温は平年並～平年より低く、月降水量は平年より少なく、月間日照時間は平年並～平年より多かった。

【4月】「並温・多雨・寡照」

この期間の天気は、期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、期間の後半は上空に寒気を伴った低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。

月平均気温は平年並～平年より低く、月降水量は平年並～平年より多く、月間日照時間は平年並～平年より少なかった。

【5月】「低温・多雨・寡照」

この期間の天気は、高気圧に覆われ晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷が次々に通過した影響でくずついた天気の日が多く、気温は低めに経過した。

月平均気温は平年より低く、月降水量は平年並～平年より多く、月間日照時間は平年より少なかった。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における
平成23年春（3～5月）の各種資料

○ 気候表

	気温		降水量		日照時間	
	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)
函館	6.4	-0.4 (低い)	226.0	106 (平年並)	509.9	95 (少ない)
江差	6.7	-0.6 (低い)	264.5	112 (多い)	409.2	86 (少ない)

注：表中平年比（差）の括弧付の値は階級を示す。

○ 極値・順位更新表（統計開始以来3位までの記録）

	要素名	順位	観測した値		従来の順位の値 現在の極値		統計 開始年
			起日		起年月日		
函館	3月における 月降水量の少ない方から	1	16.5mm	3月	19.8mm 16.5mm	1943. 3 2011. 3	1873年
	3月における 日最小相対湿度	2	17%	3月16日	18% 16%	2004. 3.31 2004. 3.28	1950年
	5月における 日最大1時間降水量	2	12.0mm	5月7日	12.0mm 14.5mm	1999. 5.27 1997. 5.17	1889年

○ さくらの開花

今年のさくらの開花日は、3月と4月にかけて激しい気温の変動がなく、平年並の開花となった。

	本年	平年差	前年差
函館	5月2日	2日遅い	3日早い

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における
平成23年寒候期（平成22年10月～平成23年5月）の各種資料

○ 長期積雪（根雪）と霜の終日（江差は観測していない）

長期積雪（根雪）の終日は、2月と3月にまとまった降雪もなく、平年より早かった。

霜は、5月上旬の低温の時期で終日となった。

	長期積雪（根雪）の終日			霜の終日		
	今季	平年差	前年差	今季	平年差	前年差
函館	3月5日	8日早	14日早	5月6日	1日遅	11日遅

○ 月別および寒候期降雪量の合計

函館では11月上旬に冬型の気圧配置となり雪が降って翌年1月まで平年を上回り、その後も周期的に発達した低気圧の接近や通過により雪が降ったが、平年を下回った。

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	10月～5月
函 館	降雪量 (cm)	—	28	100	150	61	14	3	—	356
	平年比 (%)	—	104	116	127	68	26	75	—	93
江 差	降雪量 (cm)	—	7	2]	16]	61	45)	—	—	131]
	平年比 (%)	—	64	×	×	69	102	0	—	×

注:10月と5月は、平年の降雪量が0～2cmと少ないので平年比を求めていない。

: 数値に付く] や) は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

: ×は、期間内の欠測数が一定量を超えていることを示す。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

3月1日 【渡島地方】 海上波浪害	日本海から低気圧を含む気圧の谷が接近し、気圧の傾きがやや急となっていた。 えび籠漁船が長万部町国縫沖合の噴火湾で転覆し、乗組員3名が行方不明となった。
4月28日 【渡島地方】 強風害	日本海中部にあった前線を伴った低気圧が東北東に進み、28日北海道を通過した。 渡島地方では、強風により住家の屋根や壁の剥離、非住家の屋根や看板等の剥離、破損が発生した。

《平年値に関するお知らせ》

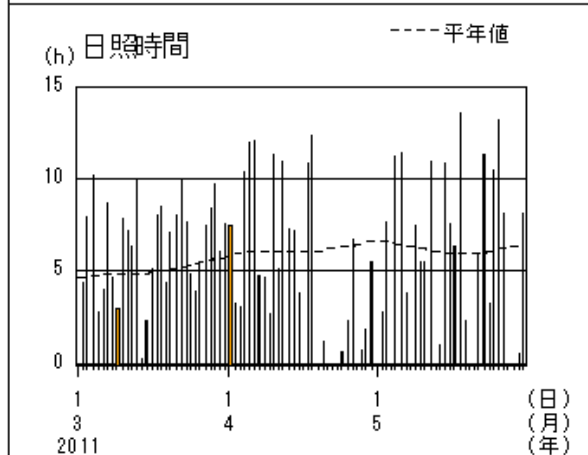
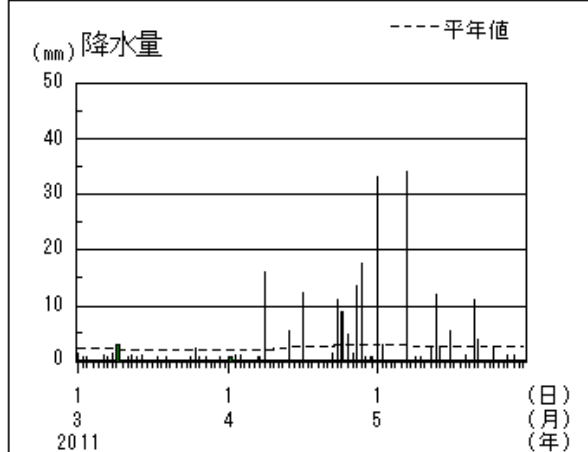
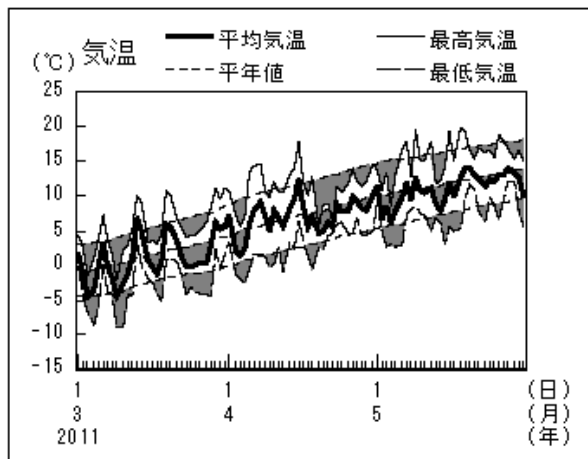
気象庁では、2011年（平成23年）5月18日から1981～2010年の観測値による新しい平年値を使用しています。

このため、既刊の「渡島・檜山地方の気象」に記載の、平年偏差（比）や階級と異なる場合があります。

◎ 気象経過図 平成 23 年春

地上気象：2011年3月1日-2011年5月31日

函館



江差

